

# 幸手市市制施行30周年記念式典を開催しました

幸手市は、昭和61年10月1日の市制施行以来、30年という節目の年を迎えました。これを記念して、平成28年10月1日(土)にアスカル幸手さくらホールにおいて記念式典を開催しました。



手をつなぎ、幸せあふれる幸手市に！

問合せ 政策調整課 ☎(43) 1111 内線 242 ・ FAX(43) 3783

当日は心配された雨も上がり、来賓や市民のみなさん、総勢1130人の来場者により式典は盛大に開催されました。



会場の外では、30周年を記念して市内小中学生からデザインコンテストの公募を行い、最



優秀に選ばれた2作品がラッピングされたデマンド交通車両「さっちゃん号」の展示が行われました。

また、幸手桜高等学校のちんどんパフォーマンスがその場を盛り上げ、来場者のみなさんにデマンド交通車両のことを知っていただき、

また、親しみを持っていただくことができました。

式典前のオープニングセレモニーでは、行幸小学校郷土芸能クラブと高須賀大杉ばやし保存会のみなさんによる、高須賀大杉ばやし披露されたほか、「幸手市30年の歩み」と題したスライドを上映しました。



式典では、市長の式辞を始め、これまで市の発展にご尽力をいただいた方々の表彰、並びに30周年を記念して募集を行ったキャッチフレーズやデマンド交通車両のデザインおよび愛称、親しみのある道路愛称の表彰が行われました。







また、お米大使歓迎セレモニーでは、ベナン共和国の特命全権大使ゾマホンD・Cルフィン氏が米俵



を担いで登場し、会場から大きな拍手が湧き起こりました。幸手市のお米大使として、幸手で生産されるお米の魅力を広く周知し、幸手産米の知名度の向上とイメージアップのためにご協力していただけるとのスピーチをいただきました。

式典の締めくくりは、さくら小学校の児童とNPO法人幸手市芸術文化振興協会による市民歌斉唱が行われ、市民歌である「しあわせ風景」のほか、「ビリーブ」という曲も披露され、幸手市への愛着と、未来の発展を願う、その想いが込められ



た歌声が会場全体に響き渡りました。こうして盛大のうちに幕を閉じた記念式典。この式典をこれからの幸手市の発展への契機とし、市民のみなさんとともに、今回のキャッチフレーズでもある「手をつなぎ、幸せあふれる幸手市に」の実現に向けて、取り組んで参ります。

## 幸手市くらしのガイドブック

市制施行30年を記念して、㈱サイネックスとの官民協働事業により、各種行政サービスや地域のさまざまな情報をまとめた「幸手市くらしのガイドブック」を作成し、市内の全世帯に配布しました。

※このくらしのガイドブックは、パソコン、スマートフォン、タブレット端末からも、閲覧することができます([http://www.scinex.co.jp/wagamachi/loco/11240/dl\\_pc.html](http://www.scinex.co.jp/wagamachi/loco/11240/dl_pc.html))。



## 市制施行30周年記念 ご当地ナンバープレート交付開始

市制施行30周年を記念して10月1日(土)から、ご当地ナンバープレートの交付を開始しました。

交付開始当日は、希望番号での交付を行い、みなさん思い思いの番号を取得していかれました。

※10月3日(月)以降は、希望番号での交付は行っていません。番号順での交付となります。

▶ご当地ナンバープレートを最初に取得した野口豊さん(東2)



手をつなぎ、幸せあふれる幸手市に！